社協だより ONAGAWA

　去る11月22日（金）、女川町生涯学習センターホールを会場に「第18回女川町社会福祉推進大会」を開催しました。
　本大会では、永年にわたり本町の地域福祉の推進に貢献いただいた方々と、本会活動を見守り応援していただいた個人・団体の方々への表彰状並びに感謝状の贈呈を行いました。
　２年に一度開催している本大会は、これまで新型コロナウイルス感染症の影響により規模を縮小して行ってきましたが、18回目となる今回は、須田町長をはじめご来賓の皆様や関係者・一般の住民の皆様、延べ97名の方々に足を運んでいただき、盛会裡に開催することができました。
　さらに、東日本大震災でいただいたご支援をきっかけに、本会との間で「友好都市社協締結に関する協定」を結んでいる長野県駒ヶ根市社協のご協力をいただき、会場入り口に物販ブースを設け、駒ヶ根市の特産品の一部と駒ケ根市社協運営の障害者施設の製品を販売いたしました。
　また、本会が運営している地域活動支援センターうみねこ園の利用者さんが制作した作品の展示コーナーも設け、当日は利用者さんに案内と紹介のご協力をしていただきました。
　今後も、住み慣れた地域ですべての世代が安心して暮らせるよう、役職員一丸となって住民主体の地域づくりを進めていきたいと思います。

2
FEBRUARY.2025

この広報誌の発行には、皆様から頂戴した会費と共同募金からの配分金を使わせていただいております。

謹んで新春の
お慶びを申し上げます

皆様にとって
すばらしい一年となりますよう
心よりお祈り申し上げます
本年もどうぞよろしく
お願いいたします

社会福祉法人 女川町社会福祉協議会
会長 髙橋 孝信
副会長 高橋 正典
理事 阿部 求
佐藤 良一
土井 賢亮
勝又 菊枝
宮坂 千尋
齋藤 俊
木村 稔
監事 遠藤 貢
渡邊 智仁

永年の功績を称えて

～ 受賞者の皆様、誠におめでとうございました ～

先の「第18回女川町社会福祉推進大会」で、永年にわたり、本町の地域福祉の推進にご尽力いただいた皆様へ、表彰状・感謝状を贈呈いたしましたので、ご紹介します。

（敬称略）

表彰状

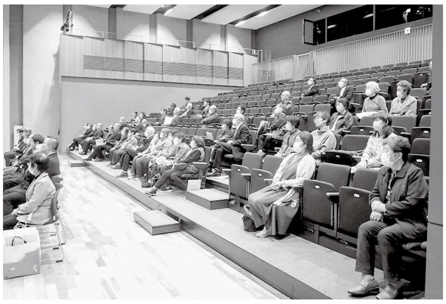
区分	受賞者	区分	受賞者
支部長	佐竹 忠	民生（児童）委員	阿部 求
	木村 功		鈴木 義明
	木村 利彦		青木 すい子
	鈴木 義光		勝又 義郎
	阿部 仙一		阿部 喜子
	東海 進		木村 和加子
社会福祉団体の役員等	佐竹 忠		伊藤 頼夫
	木村 護	本会役職員等	勝又 菊枝
	阿部 勝江		齋藤 俊
	横江 武夫		佐竹 忠
	鈴木 俊樹		鈴木 文夫
	塩森 はつみ		遠藤 重子
	赤坂 はる子		遠藤 美さ子
	齋藤 祐子		木村 とも子
	髙橋 洋		木村 あさゑ
	後藤 茂夫		木村 幸子
	三浦 則子		阿部 典子

表　彰　状

区　分	受　賞　者	区　分	受　賞　者
本会役職員等	石　森　すまえ	本会役職員等	阿　部　清　子
	齋　藤　豊　子		勝　又　恵　子
	木　村　かのえ		須　田　めぐみ
	植　木　なを子	社会福祉事業への貢献	阿　部　福　一
	木　村　しま子	特別会員として10年以上にわたり本会の運営に貢献した者及び団体等	土　井　賢　亮
	遠　藤　冨久子		株式会社ヤマホン
	平　塚　美喜子		鹿島建設株式会社 東　北　支　店
	岩　澤　つま子		的　場　登美子
	中　村　京　子		株式会社 岡 清
	鈴　木　かよ子		
	宮　本　忠　子		

感　謝　状

区　分	受　賞　者	区　分	受　賞　者
社会福祉事業寄附者	佐　藤　佳　樹	社会福祉事業寄附者	社会福祉法人 南箕輪村社会福祉協議会
	高　橋　ゆり子		
	木　村　節　子		飛騨御坊ボランティア委員会
	遠　藤　初　子		四日市メリノール学院
	国際ソロプチミスト石巻サン・ファン	賛助会員として10年以上にわたり本会の運営に貢献した者及び団体等	朝　倉　敬　悦
			木　村　登志子
	一般社団法人 生命保険協会 宮城県協会		平　塚　京　子
			佐　竹　　忠
	コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社		平　塚　洋　子
			八　巻　英　成



本大会の後半では、須田町長より「もっといい女川（まち）　地域福祉とまちづくりから」をテーマにご講演をいただきました。

ご講演では、社会動態と各調査結果から本町の現状や今後の課題について講話をいただき、参加された方々にとっても、まちづくりの視点から本町の地域福祉の現状に触れることができた機会となりました。

令和６年度福祉作品コンクールを開催しました

　第18回女川町社会福祉推進大会の開催にあわせ、福祉作品コンクールを初めて開催しました。これは、未来を担う児童が、日常生活の中で福祉について考え、「相手を思いやる心、支え合う・協力し合う心を育むこと」を目的に女川小学校の児童３年生から６年生を対象に**『自分ができるふくし』**をテーマとして、福祉に関する標語及びポスターを募集したものです。その結果、標語の部は31点、ポスターの部は15点の応募があり、児童の皆さんの福祉に対する関心の高さをうかがうことができ、大変嬉しく思いました。
　また、応募作品の審査結果、入賞作品は下記のとおりとなりましたのでご紹介いたします。
　作品応募にご協力いただきました児童の皆さん、ありがとうございました。

【標語の部】

賞	学　年	氏　　名	作　　品
最優秀賞	５年生	佐々木夢來（ささきるい）さん	おぼえたよ　手話で伝える　ありがとう
優 秀 賞	５年生	菊地（きくち）　真智（まち）さん	小さな声がけ　大きな安心　いたわりの声がひびく町に
	３年生	木村（きむら）　柊菜（ひな）さん	さしのべるやさしい心　あたたかい手　みんなですれば明るい社会
佳　　作	４年生	松川（まつかわ）　洸馬（こうま）さん	さしだす手　みんなでまもる　心のえがお
	４年生	鈴木（すずき）ひかり さん	たすけあい　笑顔ひろめる　未来まで
	４年生	木村（きむら）　結愛（ゆめ）さん	困ってる　あの子にちょっと　声かけよう

【ポスターの部】

最優秀賞

学年　４年生
氏名　木村（きむら）　心海（みう）さん

優秀賞

学年　５年生
氏名　髙橋（たかはし）　みみ さん

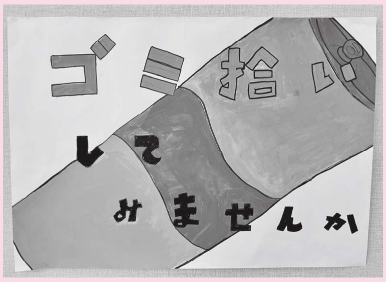
優秀賞

学年　６年生
氏名　佐藤（さとう）　弥里（いより）さん

佳作

学年　５年生
氏名　髙橋（たかはし）　世亜（せあ）さん

佳作



学年　６年生
氏名　紺野（こんの）　六花（りっか）さん

佳作

学年　３年生
氏名　髙橋（たかはし）　咲帆（さきほ）さん

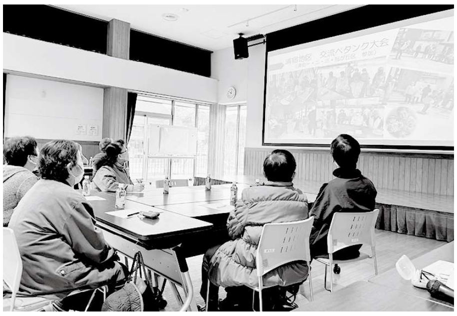
生活支援コーディネーターの「いいものみ～つけ！」 NO.35

生活支援体制整備事業「第2層協議体」開催報告！

福祉活動推進員・シルバーリーダー（老人クラブ）による「地域の推進役情報交換会」を開催しました！

テーマ①みんなが楽しく地域で活動するためには？
テーマ②みなさんが知りたいことは何？

令和６年12月11日、まちなか交流館を会場に生活支援体制整備事業「第２層協議体」を開催しました。
昨年７月の「福祉活動推進員研修」に引き続き、今回は地域の中で高齢者の生活の手助けやサポートなどの活動を担っている単位老人クラブのシルバーリーダーのみなさんにも参加していただきました。



前半では、令和６年度に行った地域活動・集いの場の写真を見ながら、生活支援コーディネーターが地域の行事にお邪魔している中で見えた団結力などを紹介し、地域での取り組みの変化についてみなさんに感じていただきながら共有できました。
地区の工夫を凝らした行事に、「うちの地区でもやってみたいね」などの声があがっていました。

後半のグループワークの中では活動人数が年々減っていたり、参加する方の顔ぶれがいつも一緒という意見が多くあがる一方で、これからに対する前向きな声も多く、「声掛けを続けていく」「一人暮らしの方も一緒に出来る様な工夫が必要」「気軽にいつでも通える場がほしい」などの様々な意見があがっていました。
しかし、まずは「活動に参加している自分達が楽しみながら活動することが大事だよね」と、参加者自身の再確認ができていたようです。
今後も、第２層協議体を情報交換の場として活用し、地域に持ち帰られるような学びのある場としていきたいと話されていました。
私たち生活支援コーディネーターも、地域の活動に協力してくれている方も参加できる場づくりを今後も進めていきます。

地域ズームアップ!!

昨年末に大原北区の婦人部で毎年恒例になっている、「粘土で干支作り」で作ったカワイイ♡白蛇が社協にやって来ました。
毎年干支作りを楽しみにしている方が多い人気の行事です。蛇は幸運の象徴で、特に白蛇は神様の使いとも言われ特に縁起がいいとされています。社協の守り神になってくれそうです♪
そして今回、社協の入り口に小さな展示コーナーを設けました。展示したい作品があれば社協へお声がけください。

今年もニョロしく
お願いします♡

うみねこ園だより

大きなクリスマスツリーとイルミネーションに心躍らせて

クリスマスシーズンを前に、今年度も福寿会のみなさんに設置していただいた大きなもみの木のクリスマスツリーとイルミネーション。うみねこ園を訪れたみなさんが、口々に「きれい！」と話す素敵なクリスマスツリーが見守る中、イオンスーパーセンター石巻東店さんのご協力を受けてクリスマス会を開催しました。

イオンさんからは昼食と飲み物とケーキ、そしてクリスマスプレゼントを提供していただいており、スタッフさんと交流しながらの素敵なクリスマス会に、感激して涙ぐむ利用者さんもいたほどでした。そのお礼として、利用者さんからクリスマスカードとハンドベルの演奏をプレゼントさせていただきました。

ちなみに、このクリスマスカードは利用者さんが手作りし、イオンさんやツリー等を設置していただいた福寿会のみなさん、その他、お世話になった方々に感謝を込めて贈らせていただいております。利用者さん自らが渡しにうかがった際は、些細なプレゼントにもかかわらず、みなさんに喜んでいただき、利用者さんもより一層温かい気持ちになったのではないでしょうか。

お世話になったみなさん、ありがとうございました。

りんご狩りに行ってきました

前年度は不作の為、中止となっていたりんご狩りでしたが、今回は2年ぶりに女川原子力ＰＲセンターにつばくろ会のみなさんと一緒に参加させていただきました。

絶好の秋晴れのもと、りんご、だいこん、さつまいもの収穫を楽しんだのはもちろん、ＰＲセンターやつばくろ会のみなさんとの交流も楽しんだ様子。帰路は、いただいた収穫物と楽しい思い出を車に乗せて、ほくほく顔のみなさんでした。

女川原子力ＰＲセンターのみなさん、つばくろ会のみなさん、ありがとうございました。

３月からゴミ袋の価格が変更となります

皆さまにご愛用いただいておりますゴミ袋は、令和７年３月から価格が変更となります。何卒ご理解を賜りますようお願いを申し上げます。

ゴミ袋（45L）30枚入り　410円→450円

詳細については、うみねこ園までお気軽にお問合せください。（☎0225-54-4028）

お申し付けいただければ配達対応も行っておりますので、ぜひお買い求めください。

※販売店によっては価格が異なる場合がありますので、ご了承ください。

宮城いきいき学園　令和７年４月入学生募集

宮城いきいき学園は、シニアカレッジとして高齢者の学習ニーズに応えるための学習の場を提供し、生きがいと健康づくりを推進するとともに、地域社会の発展に寄与できる**高齢者の地域リーダーとなる人材の育成**と**地域貢献活動への参加**を目的としています。学習をとおして仲間とのふれあいを深め、明るく楽しい充実した学園生活をぜひご体験ください。

・対　　　象：県内に居住する60歳以上の方で、学習意欲があり、２年間継続して受講可能な方
・場　　　所：宮城いきいき学園石巻校　東松島市コミュニティセンター（東松島市矢本字大溜１－１）
　　　　　　　ほか、仙南校、大崎校、気仙沼・本吉校、登米・栗原校あり。
・募集人数：各校30人程度
・学 習 日：月１～２回（１回４時間）を原則として、年間約20日（２学年制）
・内　　容：**「健康で豊かな人生の創出」「地域貢献活動への参画」「特別活動」**の３つの領域で構成し、講義・演習・実技・体験・自主活動等を通して**２年間で学習**するように編成しています。

・募集期間：令和７年３月31日まで　消印有効
・入 学 金：5,000円
・受 講 料：年間20,000円
・申込書は、宮城県社会福祉協議会ホームページまたは、各市町村の高齢者福祉担当課及び生涯学習担当課並びに市町村社会福祉協議会から入手できます。

【申込・問合せ先】　宮城県社会福祉協議会　いきがい推進センター　TEL:022-225-8477

各種義援金の受付について

地震や大雨に伴う災害により被災された方々を支援することを目的に募集を行っている各種義援金について、受付期間が下記のとおり延長となりました。**皆様のご協力を引き続きよろしくお願いいたします。**

（1）令和６年能登半島地震災害義援金について
　① 石川県共同募金会　「令和６年能登半島地震災害義援金」　令和７年12月26日まで延長
　② 富山県共同募金会
　　「令和６年能登半島地震災害義援金（富山県被災者支援分）」 令和７年３月31日まで延長
　③ 新潟県共同募金会
　　「令和６年能登半島地震災害義援金（新潟県被災者支援分）」 令和７年12月26日まで延長
　④ 中央共同募金会　「令和６年能登半島地震災害義援金」 令和７年12月26日まで延長
（2）令和６年７月大雨災害義援金について
　山形県共同募金会　「令和６年７月大雨災害義援金」 令和７年３月31日まで延長

【問合せ先】　女川町共同募金会（女川町社会福祉協議会内）　担当：千葉

ボランティアグループ『うみねこ隊』の会員を募集しています！

本会では、ボランティアセンターを設置し、ボランティア活動の支援や調整等を行っており、**女川町内でボランティアとして活動していただける方を随時募集しています。**

また、主なボランティア活動内容は下記のとおりです。
ゴミ捨て・庭木の手入れ・草むしり・電球交換・家具の移動・粗大ごみの廃棄・犬の散歩・安否確認の声がけなど

年齢や経験・未経験は問いません。疑問がありましたら、お気軽に下記担当者までお問合せください。

【申込・問合せ先】女川町ボランティアセンター（女川町社会福祉協議会内）担当：千葉

社協だより ONAGAWA 2025 2月号 No.289

皆様の善意に感謝申し上げます。

皆様から頂く寄附金は、広報紙の発行や小中学校で行う福祉学習、ボランティアセンター事業や生活困窮者への支援などに充当させていただいております。

今後とも、皆様のご理解をよろしくお願いします。

寄附金【11月１日～12月31日受付分】　（敬称略）

行政区	氏　名	金　額
上　三	佐　藤　佳　樹	30,000円
産業区	女川町商工会工業部会	20,000円

よりよい地域をつくるために 社協会員の皆様

社協会員の皆様からいただく会費は、地域福祉の充実に向けた事業を実施するための貴重な財源として大切に活用させていただきます。

特別会員【11月１日～12月31日受付分】（敬称略）

行政区	氏　名
石巻市	宮　本　美　智

東北緑化環境保全株式会社様から 災害備蓄食料品を寄贈いただきました

令和６年12月20日、東北緑化環境保全株式会社様から災害用に備蓄していた食料品のうち令和７年に更新時期を迎えるアルファ米113食とビスケット50缶、長期保存水312本を寄贈いただきました。

贈呈式では、東北緑化環境保全株式会社千釜社長より「災害備蓄食料品の有効活用によるフードロスの削減および社会貢献の観点からフードバンク事業への寄贈に至った。女川町とは令和３年３月に『災害時における支援協力に関する協定』を締結しており、東北電力グループ企業として、今後も女川町ひいては地域の福祉活動に積極的に貢献していきたい。」と寄贈の趣旨をお話しいただきました。

寄贈いただいた食料品は、ひとり親世帯や生活困窮者の方へ配布し、有効に活用させていただきます。

温かいご支援をいただき、誠にありがとうございました。

制服回収ポストへのご協力をお願いします

女川町ひとり親家庭福祉会では、学生服リユースショップさくらや仙台店のご協力のもと、**女川町地域福祉センター１階エントランスに制服回収ポストを設置しています。**

制服回収ポストとは、皆様のご自宅に眠っている制服及び体操着を入れていただくためのボックスです。まもなく卒業を迎え、卒業後の制服等の処分に困っているご家庭の皆様からのご協力をお待ちしております。また、回収した制服及び体操着は、必要とする町内のひとり親世帯の方や対象世帯に無償で譲渡させていただきます。

詳細は女川町ひとり親家庭福祉会（女川町社会福祉協議会内）までお問い合わせください。担当：須田

【広報紙に関する問合せ先】　社会福祉法人女川町社会福祉協議会　TEL:0225-53-4333

発行 女川町社会福祉協議会
〒986-2243 宮城県牡鹿郡女川町鷲神浜字堀切山一〇七番地十七
地域福祉センター１階　TEL ０２２５・53・４３３３